THANKO

Version1.0.i

取扱説明書

型番:THCADVSNA

保証期間:　購入日より12ケ月

※納品書･レシート等が保証書の代わりとなります。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

●表示の説明

⚠ 警 告　取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

・火災、感電、怪我などの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
・ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
・他の人に貸しだす場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

●お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

禁止（してはいけない内容）を示します。　強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

⚠警 告

●本製品の取り扱いについて

子どもだけで使わせたり、小さなお子様やペットの手の届くところで使わない
事故・怪我の原因。

分解や修理、改造をしない
火災・感電の原因。

落としたり、衝撃を加えたりしない
感電・故障の原因。

取扱説明書に記載されている用途以外には使わない
怪我の原因。

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない
火災・感電・怪我の原因。

濡れた手でシガーソケットの先端を持たない
感電・故障の原因。

運転中は画面を注視しない
事故の原因。

サンシェードを使用する際はフロントガラスとサンシェードの間に入れない
発熱・落下・故障の原因。

シガーソケットはアダプタ等を使用せず単独で使う
火災の原因。

配線は運転操作に支障ない場所に取り付ける
事故の原因。

※記載しているもの以外は付属しません。
※本製品をご利用において生じる物品の破損は、補償の対象外となります。
※小さなお子様の手が届くところで保管、使用しないでください。
※異常を感じたらご使用をやめてカスタマーサポートまでご連絡ください。
※ご使用中においてのお客様の過失による故障、破損、改造等はサポート保証の対象外となります。
※正しく使用されない場合に生じた事故等について弊社での責任は負いかねます。
※仕様は改善のため予告無く変更する場合があります。

●ドライブレコーダーとmicroSDカードの注意事項について

操作を行う場合は、車を停止後に行ってください。
車に取り付けをする前に、本体とバックカメラの動作確認をして下さい。

・microSD カードは付属いたしません。
※ドライブレコーダーの記録用 SD カードはとても過酷な条件で動いています。
よって 1 ～ 2 か月に 1 回初期化、フォーマットが必要です。
・カードエラーが表示された場合は、microSD カードに問題が起きております。
別の microSD カードをご用意いただき、交換をしてご利用ください。
（microSD カードは消耗品となります）
・使用の際は、必ず正常に動作しているかご確認の上ご利用をお願い致します。
・ドライブレコーダーは事故を防止する装置ではありません。状況によっては記録されない場合があります。
・シガーソケットから給電をしながらのご利用をお願い致します。
シガーケーブルを改造してのご利用はサポート外となります。
・本体は防水ではありません。水で濡らさないようにしてください。（後方カメラは防水）
・一部車両ではエンジンを切ってもシガーソケットからの電源が供給される場合がございますのでご注意ください、バッテリーが上がるおそれがございます。
・事故の証拠は保証致しませんのでご了承ください。
・全ての状況下での録画は保証できませんのでご了承ください。
・録画 / 撮影した映像は扱いによっては肖像権の侵害となる場合がありますのでご注意ください。
・起動音を消すことはできません。

●電池のリサイクルについて

Li-ion

本製品は、リチウムイオン電池を内蔵しています。この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの製品を廃棄・リサイクルする場合は、地方自治体の指示に従ってください。

→続く

●故障かな?と思ったら

○お問い合わせ・修理をご希望をされる場合
support@thanko.jp に空メールをお送りください。自動返信でご案内いたします。
←左図のQRコードを読み取り、空メールを送信することも可能です。

○自動返信が来ない場合
送信前に「@thanko.jp」のメールが受信できるよう設定の上ご送付ください。

○不具合品のご送付先
ご送付いただくだけでは対応ができない為、必ず空メールをお送りいただき、内容をご確認の上ご送付ください。

送付先 〒275-0024 千葉県習志野市茜浜(チバケン ナラシノシ アカネハマ) 2-3-1
宛て名 EL 内 サンコーサポート宛
問い合わせ 03-3526-4328（月～金 10:00 ～ 12:00 13:00 ～ 18:00 土日祝日を除く）
support@thanko.jp

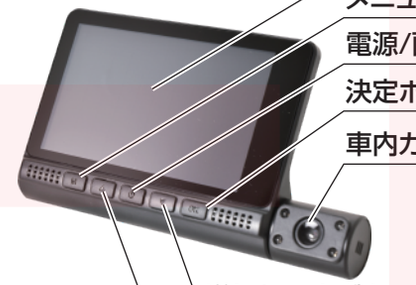
◆仕様 ※仕様は予告なく変更する場合がございます。

サイズ	モニター:幅136×高さ78×奥行40(mm)
重量	105g
電源	DC12/24V
液晶サイズ	4 インチ 液晶カラー
レンズ画角	前方 :150 度、車内:120 度、後方:90 度
記録メディア	microSD カード(8 ～ 64GB Class10 推奨)
記録ファイル	前方カメラ:1920 × 1080 25fps 車内 / 後方カメラ:640 × 480 25fps/30fps
撮影時間	64GB の microSD カード使用時約 7 時間
画素数	前方カメラ:200 万画素　車内 / 後方カメラ:30 万画素
コーデック	H.264
防水性能	後方カメラ防水機能あり
マイク / スピーカー	内蔵
G ショックセンサー	内蔵
赤外線 LED	なし
バッテリー	リチウムポリマー 3000mAh
パーキングモード作動時	30秒間録画
内容品	本体、後方カメラ (約 7.3m)、アタッチメント、シガーケーブル (約3m)、 後方カメラ用両面テープ、後方カメラ用ネジ× 2、日本語取扱説明書
保証期間	購入日より12 ヶ月

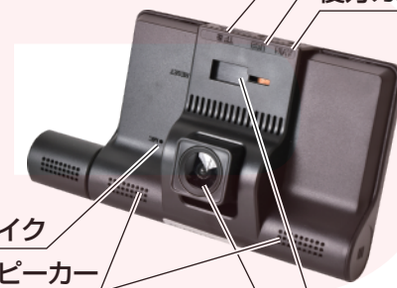
◆内容品 / 各部名称

⚠ ※レンズ・吸盤の傷防止フィルムを剥がしてご使用ください。

正面



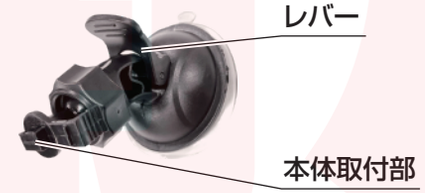
裏側



後方カメラ/ケーブル

シガーソケットケーブル(電源)

取り付け用吸盤



後方カメラ取付け用

- 両面テープ
- ネジ×2本

→続く

◆使用方法

●本体 / アタッチメントの設置について

車の前方の視界を妨げない場所に取り付けてください。取り付けは、フロントガラス上縁からフロントガラス実長の 20%以内の範囲でおこなってください。また車の ADAS(先進運転支援システム)のセンサーはルームミラーに設置されていることがあります。本製品の取付により、センサーの自動動作に影響が出る場合がありますので、取付する前にセンサーの位置をよく確認し、避けるように取り付けてください。また車の取扱説明書も併せてご確認ください。

1. 取り付け場所を清掃する

取付箇所をあらかじめよく清掃･脱脂します。

⚠ ※落下の原因となりますので、あらかじめ必ずしっかりと清掃･脱脂を行ってください。

2. 吸盤を取り付ける

取り付け用吸盤のフィルムを剥がしたら、レバーを上にしてフロントガラスに吸盤を押しつけます。しっかりと押しつけながら、レバーを奥に倒してロックしてください。外す際は必ずレバーを起こしてから外してください。

3. 本体を取り付ける

本体背面の取付け部に、吸盤先端の突起を差し込んで、右図の矢印方向にスライドして奥までしっかりとはめ込みます。

4. 画面の角度調整

吸盤のアジャスターを回してロックを解除し、画面の角度を決めたらアジャスターを締めて固定してください。

◆使用方法 (つづき)

●後方カメラの設置について

※バックカメラの配線を車内に埋め込みなどをする際は、事前に必ずドラレコ本体とバックカメラが正しく動作するか予め確認を行ってから配線の設置を行ってください。

5. 後方カメラを取り付ける

後方カメラを付属のネジ、もしくは両面テープを使って固定します。設置場所の汚れなどをふき取り、両面テープでカメラを取りつけます。(ネジの場合は車体に穴があきますのでご注意ください)
画面を確認し、角度を調整して下さい。
角度が決まったら、台座の左右のネジを締めて固定してください。

⚠ バックカメラは鏡像で映り台座を下にした場合は天地が逆となります。

6. 後方カメラのケーブルを取り回す

後方カメラの赤いケーブルはリバース信号のコネクタに接続して下さい。接続方法は各車のマニュアル等をご確認下さい。
(取り付けに関してはサポート外になります)

後方カメラの赤いケーブルはリバース信号のコネクタ(テールランプの+線等)に接続する事により、車をバックギアに入れた時のみ後方カメラの映像を自動的に画面に表示してバック時のアシスタントガイド線を表示させる事が出来ます。

後方カメラの端子を本体上部にある後方カメラポートに端子を差し込みます。

赤いケーブルを接続しなくても後方の映像を表示しながらの走行や、液晶切替ボタンを押すことで後方の映像を表示させる事が出来ます。また、自動切替を行わないだけで、通常通りお使いいただけます。

→続く

7. シガーケーブルを接続する

車のエンジンをかける前に、本体の電源ポートに付属のシガーケーブル(USB mini-B端子側)を差し込みます。シガーアダプタ側を車のシガーソケットに差し込みます。

8. 保護シールを剥がす

前方･後方･車内カメラ、液晶に保護シールがついていますので剥がしてください。

9. microSD カードのセット

カードの印刷面が背面側になるように、カード挿入口にセットします。カチッと音がするまで爪先で押し込んでください。カードを抜く時は、カードを爪先で少し押し込むと、カードが出てきますので、掴んで抜いてください。

⚠ ※カードの着脱は必ず電源オフにして行ってください。

●microSD カードについて

※ドライブレコーダーの記録用 microSD カードはとても過酷な条件で働いています。
1 ～ 2 カ月に 1 回初期化、フォーマットが必要です。

・初めてご使用の際は、本体で microSD カードをフォーマット（初期化）を行ってからご利用下さい。
・microSD カードは Class10 以上を推奨します。Class10 未満の場合、正常に録画できない場合があります。
・容量の少ない microSD カードを使用しないでください。少ない microSD カードを使用した場合、短時間しか録画できません。またロックされたファイルが増える事で、ループ撮影ができず撮影が止まってしまう場合があります。
・microSD カード以外の物は挿入しないでください。
・カードの向きに注意してください。またカードの金属端子部分には触れないでください。
動作環境温度を超える駐車の場合は、カードを抜いてください。熱により故障のおそれがあります。
・microSD カードは、本体温度の変化が著しい場所で使用した場合、正常に動作しない場合があります。

10. 電源のオンオフ

■電源を入れる

車のエンジンをかけると自動的に電源がオンになり、録画を開始します。
また、電源がオフの状態で電源ボタンを長押しすると電源がオンになります。

◆使用方法（つづき）

■電源を切る

電源がオンの状態でエンジンを停止すると、モニター画面にメッセージが表示されます。
また、電源がオンの状態で電源ボタンを長押しすると電源がオフになります。

■液晶画面(カメラ)の切替え

本体の液晶切替えボタンを押すごとに、
前方･車内2分割→前方カメラ→車内カメラ→3カメラ…と切り替わります。
※画面が切り替わっても録画は継続しています。

11. 初期設定をする

まず日付･時間の設定を行います。
録画中は設定することができませんので、録画画面の右端にある赤い停止アイコンをタッチして止めてください。録画画面上の時間表記が止まります。

①本体のメニューボタンを押すと5項目の設定画面が表示されます。
②[セットアップ]→[日付]の順で選択します。液晶パネルをタッチ、もしくは[送りボタン]で選択して[決定ボタン]を押してください。
③最初に一番左の年が選択されています。液晶パネルをタッチして[日付]を正しい年度に設定します。
⑤終了したら液晶下に表記されている確認ボタンをタッチすると各種設定画面に戻ります。
⑥5項目の設定画面に戻る場合… もしくは
映像画面に戻る場合…
これで日付･時間の設定は終了です。

日時設定画面

各種設定画面

→続く

12. 録画/静止画撮影方法

「初期設定」の内容を変更していただければ準備は終了です。車のエンジンを入れれば、自動的に本製品の電源がオンになり録画が開始されます。
車のエンジンを切れば、録画の停止･保存を行い、本製品の電源が自動的にオフになります。
本製品には色々な機能や、細かい設定が可能となっています。初期設定の内容だけで、ドライブレコーダとしてのご利用が可能ですが、必要な時は設定を変えてご利用ください。

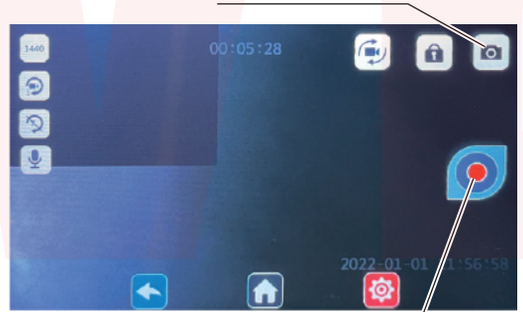
⚠ ※microSD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルから上書きして繰り返し録画していきます。

■録画オフ
録画画面の右端にある赤い停止アイコンをタッチして止めてください。録画画面上の時間表記が止まります。

■録画オン
再度タッチすると録画が再開され、液晶上中央に録画時間が赤色で表示されます。

■静止画撮影
録画画面右上、撮影切替ボタンをタッチするとカメラモードに切り替わります。(録画中は切替えられませんので録画を停止してから操作してください)
撮影ボタンを一度タッチすると「カシャッ」という音が鳴り静止画を 1 枚撮影します。

■消音
録画画面でメニューボタンを長押しすると、録画の各種設定画面が表示されます。録音アイコンを押すとオンオフの切替が可能です。オフにすると液晶左のマイクマークに斜線が表示され、消音モードとなります。



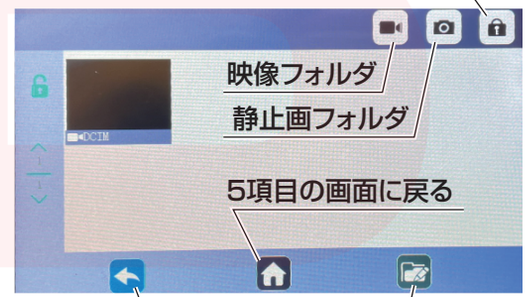
◆使用方法（つづき）

13. 各データ再生方法

■録画映像を再生する
①メニューボタンを押すと5項目の設定画面が表示されます。
②ファイルをタッチするとDCIMという名称のフォルダが表示されるのでタッチしてください。
③1～3のフォルダが表示されます。
1…前方カメラ
2…車内カメラ
3…後方カメラ
上記1～3の任意のフォルダを選択し、見たい映像をタッチして再生してください。

■静止画を再生する
①画面右上のカメラマーク、静止画フォルダアイコンをタッチすると静止画が表示されます。
②任意の静止画ファイルを選択して再生してください。

■ホームに戻る
画面下中央の家マークをタッチすると、5項目の画面に戻ります。左下の録音ボタンをタッチすると録画画面に戻ります。



→続く

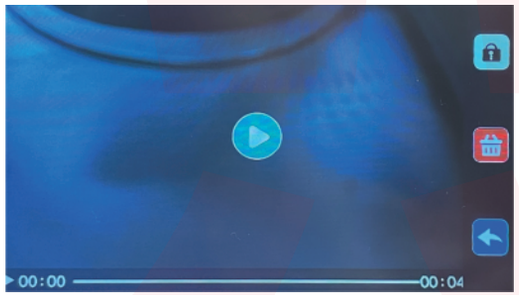
●データロック（データの保護）について

本製品は microSD カードの容量がいっぱいになると、古いデータから上書きして録画を続けます。本製品には G センサーが搭載されており、車が衝撃を感知すると録画中のデータが上書きされないようにロックがかかります。**カードがすぐにデータでいっぱいになり録画が出来なくなってしまうという場合は、G センサーの感度を調整し（後述の「各種設定について」G センサーの項目を参照）ご使用下さい。**

14. データのロック方法

■フォルダ内でファイルロック

①[各データ再生方法の項目]を参照し、ファイルを表示します。
②ロックしたいファイルを開くと、右側に鍵マーク・ゴミ箱マーク・戻るマークが表示されます。
③鍵マークを一度タッチするとそのファイルはロックされ、一覧表示に戻るとファイル名の横に鍵マークが付きます。
④解除する場合は同様の手順で行ってください。



■録画中のファイルロック

録画画面で録画されている状態で、液晶右上の鍵マークをタッチすると時間表記の左側に鍵マークが表示され、録画中のファイルがロックされます。再度タッチするとロックが解除されます。

◆使用方法（つづき）

15. 各種設定について

各種設定画面…メニューボタンを押すと5項目の設定画面が表示されます。セットアップをタッチすると各種設定画面が表示されます。
microSDのフォーマットにつきましても各種設定画面にて行います。

各種設定画面

●本体でのフォーマットについて（microSD カードの初期化）

※ドライブレコーダーの記録用 microSD カードはとても過酷な条件で働いています。よって 1 ～ 2 カ月に 1 回、本製品で初期化フォーマットを行ってください。

- **スクリーンオフ**…操作をしないと自動的にスクリーンオフにする時間設定です。OFF ／ 30 秒／ 60 秒／ 120 秒
- **自動的に OFF** …録画しない時、3 分／ 5 分／ 10 分後自動的に電源 OFF する設定です。
- **50 /60Hz**…東日本／ 50Hz、西日本／ 60Hz　お住まいの地域に合わせて変更します。
- **キーサウンド**…ボタンを押した際のビープ音のオンオフをする設定です。
- **言語**…メニューの表記を日本語にする場合は、日本に設定します。
- **日付**…日付・時刻を設定します。
- **ナンバープレート**…登録した車体ナンバーを録画した動画に透かし表示で保存します。
- **ヘッドランプ**…夜間走行で暗く録画し難い時に、車のヘッドライトを使用する案内表記の設定です。
- **フォーマット**…データを全て削除しフォーマットします。初めて使用する前にもフォーマットしてください。
- **デフォルト**…設定をした項目を初期化する際に使用します。
- **バージョンナンバー**…ファームウェアのバージョンを表示します。
- **フィルライトモード**…赤外線補光で、夜間録画の明るさを高める設定です。

→続く

◆使用方法（つづき）

録画設定画面…メニューボタンを長押しすると録画設定画面が表示されます。
Gセンサーの感度設定につきましても録画設定画面にて行います。

●G センサーの感度について

※カードがすぐにデータでいっぱいになり録画が出来なくなってしまうという場合は、G センサーの感度を調整してください。（OFF・低感度・中感度・高感度）

録画設定画面

- **解像度…**解像度を設定します。1440P ／ 720P ／ 480P
- **双方向…**ON するとインカメラ、車内、バックカメラを録画して保存する設定です。OFF にするとインカメラだけ録画して保存します。
- **サイクル…**動画を分割して録画する設定です。SD カードの記憶領域が少なくなると分割最後の動画を削除して上書きします。
- **間隔…**フレームレートの設定です。OFF ／ 100ms ／ 200ms ／ 500ms
- **HDR…**暗い部分、明るい部分、その中間の写真を合成します。
- **露出補正…**撮影する明るさを設定します。
- **移動…**起動中で録画していない状態でも、インカメラが検知した場合に自動録画する設定です。
- **日付ラベル…**撮影した画像に日付表示の有無を設定します。
- **G センサー…**4段階 初期値：中　走行時に衝撃を感知した際、録画データをロックします。その際の衝撃感度の設定を行います。少しの衝撃でも感知される場合は、変更をしてください。
- **録音…**OFF にすると録画した動画の音声がなくります。
- **パーキングモード…**エンジンを切って駐車中も録画を続ける設定です。
- **ナンバープレート…**ナンバープレートの表示有無を設定します。

◆使用方法（つづき）

静止画設定画面…
①録画画面右上、撮影切替ボタンをタッチするとカメラモードに切り替わります。(録画中は切替えられませんので録画を停止してから操作してください)
②メニューボタンを長押しすると静止画設定画面が表示されます。

静止画設定画面

- **サイズ…**画素数を設定します。VGA(640×480) ／ 1M (1280×960) ／ 2M(1600×1200) ／ 3M(2048×1536) ／ 5M(2560×1920) ／ 8M(3264×2448) ／ 10M (3648×2736)
- **撮影の設定…**撮影するタイミングを設定します。シングルショット／ 2 秒後ショット／ 3 秒後ショット／ 10 秒後ショット
- **連続撮影…**オンに設定すると一度に連続3枚撮影します。
- **品質…**保存されるサイズは同じですが解像度を変更します。
- **シャープネス…**3段階で画像の輪郭を設定します。
- **ホワイトバランス…**撮影時の環境光による影響を補正して白色を調整します。
- **色…**特殊効果の設定です。モノクロ、ノスタルジックが選択できます。
- **ISO…**写真撮るの露光時間を減らします。
- **露出補正…**撮影する明るさを設定します。
- **防振…**手振れ補正を設定します。
- **プレビュー…**撮った写真を設定時間プレビューしてから保存します。OFF ／ 2 秒／ 5 秒
- **日付ラベル…**日時スタンプの有無を設定します。

→続く

◆使用方法（つづき）

16. パソコンでデータ再生

撮影したデータをパソコンで見るには、microSD カードを本体から抜き、
カードリーダー（別売）などでパソコンに読み込ませます。

●ロックされたファイルについて

G センサーが作動した際に録画していた動画はロック（ファイルに鍵マークがついています）されていますが、本体及びパソコンで削除することが可能です。そのため、パソコンでファイル整理をする際は削除しないようお気をつけください。また、本体で任意でロックしたファイルも同様となります。

○Windows7 以下の場合
スタートボタン→コンピューターをクリックします。
○Windows8 の場合
アプリ一覧→PC をクリックしたら、「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。
○Windows10 の場合
スタートメニュー→エクスプローラー→デバイスとドライブでドライブをダブルクリックします。
リムーバブルディスク内に撮影したデータが保存されています。

- DCIM
  - 1 …前方カメラ
  - 2 …車内カメラ
  - 3 …後方カメラ

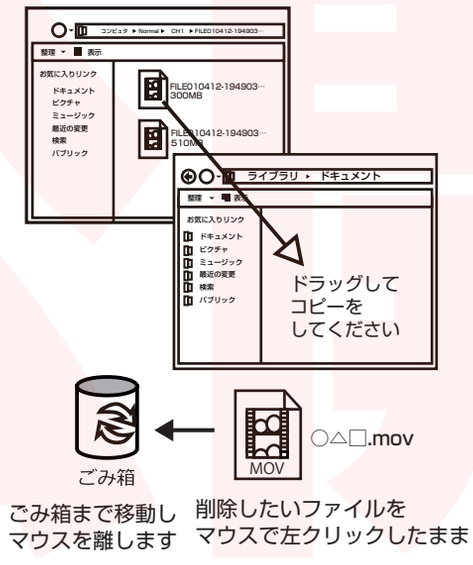
※動画・静止画共に同じフォルダ内に保存されています。

17. 撮影したデータのコピー

撮影したデータをパソコンにコピーする場合は、下記の様に保存したい場所へ（この例ではドキュメントフォルダ）ドラッグしてコピーをしてください。

18. 撮影したデータの削除

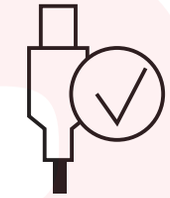
データをごみ箱に入れた場合は、即削除されますのでご注意ください。
撮影したデータを再生中の場合は、削除をする事ができません。再生を停止した後、ごみ箱に入れてください。ロックされたデータを個別に消去することが可能です。



◆使用方法（つづき）

19. microSDをパソコンから取り外す

カードをパソコンから取り外す際は、必ずタスクバーに表示されている（画面右下の時間表示の左側に表示されます）「ハードウェアの安全な取り外し」のアイコンをクリックしてください。
メニューの指示に従い、ドライブを選択して取り出しの文字をクリックするか、「USB Mass storage Device」の取り出しの文字をクリックしてください。
しばらくすると、安全に取り外しができるメッセージが表示されます。その後に、パソコンから本製品を取り外してください。



⚠ ファイルの書き込み中等にカードをいきなりパソコンから取り外すと、カードの破損やファイルの破損に繋がりますので、ご注意ください。